

## 井上香さんと井上果音ちゃん (5歳)



昨年、東京から引っ越して二葉幼稚園に入園しました。娘は幼稚園に慣れるまで時間がかかりましたので、白糠こども園でも慣れるまでに時間がかかるだろうと思っていましたが、園内の雰囲気明るくて、先生たちも気づかってくれましたので、すぐに慣れ、毎日楽しく通っています。

私は仕事をしていますが、娘の気持ちを尊重して教育認定（13：30まで）にしています。ですが、最近は娘がもっと園にいたいと言っていますので、保育認定（16：30または18：30）への変更も考えています。娘は先生のこと好きだし、給食もおいしいと、とても喜んでいきます。

## 幼稚園、保育園 それぞれの特長を生かして

石田若葉主任（以下：石田）私を含めて、元二葉幼稚園の先生は3人です。二葉幼稚園から来た先生たちは、まず慣れることに一生懸命ですが、この間でも気づいたことがたくさんあります。幼稚園ですと3歳から5歳までですので、0歳から2歳までの子どもたちが、どう過ごしてきたのかは分かりません。こういう保育を経て幼稚園

に来ていた子どももいたんだなど、改めて感じましたし、保育園の先生たちの苦労も知りました。

吾妻香保育教諭（以下：吾妻）私は元白糠保育園です。白糠こども園では、2歳の保育を担当しています。二葉幼稚園から来た子どもたちは、まだまだ交流していませんが、子どもたちの順応が早くて驚いています。幼稚園の子、保育園の子という隔たりはなく、みんな仲良くしています。石田：幼稚園では担任が1人だし



左から石田若葉先生と吾妻香先生

だが、こども園では2人体制です。私は保育園の先生と一緒に5歳を担当しています。3歳・4歳も、それぞれ幼稚園の先生と保育園の先生が2人で担任をしています。2人体制になったことで、今までよりも子どもたちに目が行き届くようになりました。吾妻：これからは、幼稚園と保育園の特長を生かしていきたいと思っています。町の未来を担っている子どもたちですから、きちんと責任を持って育てていかなければと思っています。石田：町の宝物を預かっているからには、老体に鞭打って頑張らなければなりませんね（笑）

## 白糠こども園開園・入園式

4月1日、白糠こども園の開園・入園式が元白糠保育園で行われ、出席者約60人が白糠こども園の誕生を祝いました。

開園式では、漆崎高理事長が「二葉幼稚園と白糠保育園の歴史を引き継ぎ、心豊かで健やかな子どもを育むという基本理念のもと、幼児教育を充実させていきたい」と式辞を述べました。開園式の最後には、園児たちがお祝いの歌として童謡の「チューリップ」を歌い、新しい園のスタートに胸を膨らませました。

